

## 認定単位取得可能セッション（予定）

※現在、以下の内容で申請中です。確定版は追って公開いたします。

日付	時間	会場	セッション	セッション名	生涯研修			※注意事項※
					専門	更新	実地	
5月28日 (木)	9:00~11:00	第1会場	メインシンポジウム 1	産業保健に役立つ日本人の生活習慣病発症予防のエビデンスのすべて 1	2			
	9:00~11:00	第2会場	100周年特別企画シンポジウム	働く人々における疾病の100年－職業性疾病および作業関連疾患の歴史的変遷と将来展望－	2			
	9:00~11:00	第3会場	シンポジウム 3	ダイバーシティ＆インクルージョン 多様な健康背景の方の社会参加を支援するために産業保健職が理解すべきこと	2			
	9:00~11:00	第4会場	シンポジウム 4	GPS（良好実践事例）の活用～産業保健を小規模事業所へ届けるための工夫～	2			
	11:10~12:10	第1会場	教育講演 1	職場における熱中症対策の最前線	1			
	11:10~12:10	第2会場	教育講演 2	小規模事業場のストレスチェック義務化に向けて	1			
	11:10~12:10	第3会場	教育講演 3	CBC（血算）の基礎から血液がん治療の両立支援まで－働く人の健康を守る視点から－	1			
	11:10~12:10	第4会場	学会賞受賞講演	産業衛生学というサイエンス－産業中毒予防をめざす研究の魅力－	1			
	11:10~12:10	第5会場	教育講演 5（学術委員会企画教育講演）	職場の実践に実装科学を活かす－現場からはじめる研究の第一歩	1			
	13:40~14:40	第1会場	特別講演 1	特別講演 その時産業医はどう動いた 一阪神・淡路大震災の教訓と未来への備え－	1			
	13:40~15:40	第2会場	シンポジウム 1	がんとともに働く人を支える両立支援の現在地～両立支援の努力義務化が拓く新たな実践～	2			
	13:40~15:40	第3会場	教育講演 4	あなたは依存症を本当に知っていますか？：職域における理解と支援	1			
	13:40~15:40	第4会場	シンポジウム 5	産業保健におけるAI活用の推進～研究と実務と～	2			
	13:40~15:40	第5会場	シンポジウム 7	化学物質におけるリスクアセスメント健診の現状と課題	2			
	16:00~18:00	第1会場	企画運営委員長企画パネルディスカッション 1	復職・就業措置の判断に難渋する事例検討会 1～難渋するケースへの企業の論理と産業医の思い～法的側面も交えて	2			
5月29日 (金)	16:00~18:00	第2会場	シンポジウム 2	職場における感染対策の現状と喫緊の課題：海外からの就労者の結核問題を含めて	2			
	16:00~18:00	第3会場	フォーラム 1	ストレスチェック制度10年間を振り返って	2			
	16:00~18:00	第4会場	シンポジウム 6	すべての働く人のために産業保健専門職ができる「もう1歩」	2			
	16:00~18:00	第6会場	シンポジウム 9（許容濃度委員会）	化学物質を扱う産業現場の安全衛生向上に必要な今後の研究	2			
	9:00~10:00	第1会場	教育講演 6	「労働者」概念と産業保健－働く人の健康を守る産業保健の理論と実践	1			
	9:00~10:00	第2会場	教育講演 7 ※	発達障害の特性が強くうかがわれる労働者に関して産業保健職に期待されること	1			教育講演 8 「職場における自己愛性パーソナリティ症の理解と対応～初学者に向けて～」と連続で聴講して2単位の付与となります。どちらか一方のみに参加しても、単位付与はありません（1単位ずつの付与はいたしません）のでご注意ください。
	9:00~10:00	第3会場	教育講演 12 ※	産業保健に役立つ糖尿病のすべて－基礎理解から最新知見まで－	1			教育講演 13 「産業保健に役立つ高血圧症のすべて－基礎理解から最新知見まで－」と連続で聴講して2単位の付与となります。どちらか一方のみに参加しても、単位付与はありません（1単位ずつの付与はいたしません）のでご注意ください。
5月29日 (金)	9:00~11:00	第4会場	シンポジウム 12	産業保健に役立つ眼の話～健診・病態から職場での対応まで～	2			
	9:00~11:00	第5会場	シンポジウム 14	カスタマーハラスメント対策の実践例－すべての働く人の健康のために－	2			
	10:00~11:00	第2会場	教育講演 8 ※	職場における自己愛性パーソナリティ症の理解と対応～初学者に向けて～	1			教育講演 7 「発達障害の特性が強くうかがわれる労働者に関して産業保健職に期待されること」と連続で聴講して2単位の付与となります。どちらか一方のみに参加しても、単位付与はありません（1単位ずつの付与はいたしません）のでご注意ください。
	10:00~11:00	第3会場	教育講演 13 ※	産業保健に役立つ高血圧症のすべて－基礎理解から最新知見まで－	1			教育講演 12 「産業保健に役立つ糖尿病のすべて－基礎理解から最新知見まで－」と連続で聴講して2単位の付与となります。どちらか一方のみに参加しても、単位付与はありません（1単位ずつの付与はいたしません）のでご注意ください。

## 認定単位取得可能セッション（予定）

※現在、以下の内容で申請中です。確定版は追って公開いたします。

日付	時間	会場	セッション	セッション名	生涯研修			※注意事項※
					専門	更新	実地	
5月29日 (金)	11:10～12:10	第2会場	教育講演 9	職域におけるトラウマケアと早期対応 — 認知行動療法(CBT)にもとづく支援	1			
	11:10～12:10	第3会場	教育講演 14	産業保健に役立つ慢性腎臓病のすべて — 基礎理解から最新知見まで —	1			
	11:10～12:10	第5会場	教育講演 15	石綿の健康被害と規制対策	1			
	13:40～15:40	第1会場	メインシンポジウム 3	運動・飲酒・喫煙・肥満を起点とした生活習慣病予防のエビデンス：あなたは本当にエビデンスを知っていますか？	2			
	13:40～15:40	第2会場	シンポジウム 10	現場から考える：合理的配慮と安全配慮のバランスと実践	2			
	13:40～15:40	第4会場	シンポジウム 13	経営層に届く集団分析：職場環境改善を加速させるストレスチェック活用の最前線	2			
	15:50～16:50	第2会場	教育講演 10	すべての働く人への仕事と治療の両立支援を考える～乳がん患者への実践と考察～	1			
	15:50～17:50	第3会場	シンポジウム 11	職域における高血圧予防のための栄養・保健指導と食環境整備の新たな取り組み	2			
	17:00～18:00	第2会場	教育講演 11	職場で死にたいと思っている人への対応	1			
5月30日 (土)	9:00～10:00	第1会場	国際特別講演	The Future of Occupational Health - what can we expect?	1			
	9:00～10:00	第2会場	教育講演 16	職場での線内障への対応	1			
	9:00～10:00	第3会場	教育講演 17	職域における動脈硬化性疾患予防のための脂質管理	1			
	9:00～10:00	第4会場	教育講演 20	労働衛生行政の最近の動向		1		
	9:00～10:00	第5会場	教育講演 24	許容濃度の提案とその意義 - 2025年の許容濃度の提案から -	1			
	10:10～12:10	第2会場	メインシンポジウム 5	産業保健に役立つ日本人の生活習慣病発症予防のエビデンスのすべて 2	2			
	10:15～11:15	第3会場	教育講演 18	産業保健に役立つ循環器疾患のすべて — 基礎理解から最新知見まで	1			
	10:15～11:15	第4会場	教育講演 21	化学物質の職場巡回：産業医として実務に直結する知識	1			
	11:25～12:25	第3会場	教育講演 19	すべての働く人への仕事と治療の両立支援を考える～血液透析患者への実践と考察～	1			
	11:25～12:25	第4会場	教育講演 22	産業現場で目にする皮膚疾患、化学物質による皮膚障害の知見を深める～職業性皮膚疾患を知る・診る～	1			
	14:00～16:00	第1会場	メインシンポジウム 4	職場のメンタルヘルス対策とその体制～入り口から出口まで	2			
	14:00～16:00	第2会場	シンポジウム 16	働く女性の“今とこれから”を支える産業保健活動	2			
	14:00～16:00	第3会場	シンポジウム 18	すべての働く人に「化学物質管理」を届ける仕組みづくり	2			
	16:10～17:10	第4会場	教育講演 23	最近の歯科保健医療の動向～働く世代の歯科口腔保健の重要性～	1			
	16:10～18:10	第1会場	地域交流集会	建設業一人親方として働く人への産業保健～新たな産業保健システムの構築に向けて～	2			
	16:10～18:10	第2会場	シンポジウム 17	労働安全衛生規則改正に伴う罰則付き義務化を受けた、現場における熱中症対策の実際	2			
	16:10～18:10	第3会場	シンポジウム 19 (日本産業保健法学会共同企画)	職場における休職・復職支援の実践と法～多職種による事例検討を通じて～	2			